

# 出雲大社の歴史と、『越』との交流

～神話伝承と考古学から読み解く～



古代神話のなかで、特別な役割を果たした出雲と出雲大社。  
日本海を介した「越」地域と出雲との交流は、神話伝承、考古学から  
どのように読み解くことができるでしょうか。  
西暦2000年に出雲大社境内の発掘調査を担当した講師が、古代国家誕生の  
鍵を握る出雲大社の歴史と、ダイナミックな日本海交流について語ります。

令和8年 7月 23日(木)

時間 午後2:00～午後4:00(午後1:45～受付)

対象者 どなたでも

定員 参加費無料・先着30名(要事前申込)

会場 巻地区公民館 小ホール(新潟市西蒲区巻甲635)  
※会場と講師をオンラインでつなぎ受講します。

内容 ・神話からみた出雲と越地域  
・考古学からみた弥生～古墳時代の出雲・越地域の交流～  
・日本海交流と出雲大社

申込 6月22日(月)～7月17日(金)の間に下記いずれかの方法で申込み

1. 電話 岩室地区公民館(0256-72-8844) 月～金曜日 9:00～17:00(※祝日を除く)

2. e-NIIGATA 24時間受付 右の二次元バーコードよりお申込みください

※上記期間中でも、定員に達し次第、受付終了となります。

講師

まつお みつあき  
松尾 充晶 氏

島根県立古代出雲歴史博物館  
学芸企画課長

(オンライン上での登壇)

